

株主様へ Olympicグループの今とこれからを伝える交差点

KÓSATEN



Olympicグループ 第48期第2四半期 株主通信 Vol.53



特集：『食』の個性化戦略



2019年7月26日開店「Olympicお花茶屋店」

Olympicがお客様にお届けする「美味しい驚き」

食の美味しさと安心・安全を標榜してきたスーパーマーケット業界もオーバーストア状態とも言われ、消費増税とも相まって、依然厳しい経営環境が続いています。
そんな中Olympicグループの各店舗では、今後も地域のお客様に「この街に無くては困ります」と言ってもらえるような唯一無二の存在となれるよう、お客様満足度の向上、そして商品価値の向上に取り組んでまいります。

Olympicグループでは、店舗フォーマットの効率化戦略の一環として7月に「カズンお花茶屋店」を「Olympicお花茶屋店」にリニューアルし、新装開店

いたしました。これを機に、地域のお客様へOlympicの商品を通じて新しい価値観を提案させていただきました。



色どり豊かな旬のフルーツが並びます



鮮度自慢の鮮魚売場



書棚に見立てたレトルトカレー売場は圧巻

たとえばインスタベーカリー「パン工房」では、粉から練って焼き上げる手作りパンに、新しい発想の食事パンを導入しました。毎日食べても飽きない美味しさと食感を追求して開発した生食パンや、大胆な食材使いでボリューム満点のカレーパンなど、Olympicにしかない美味しい驚きを提供して、大変ご好評をいただきました。



モチモチした食感と食べやすさが人気の「豆マージュ生食パン」



インパクトの大きさと大人気の「とろーり半熟たまごのザクザクカレーパン」は食べごたえも満点です。

「2019パングランプリ東京」で、優秀賞を受賞しました！

この度「2019パングランプリ東京」にて、オリンピックをテーマにしたパン作りが評価され、優秀賞をいただきました。今後ともオリジナリティ溢れる美味しいパン作りで、お客様に美味しい笑顔をお届けしていきます。



受賞したベーカリー部門商品開発担当 皆川

惣菜売場では、店内で味つけして二度揚げしたこだわりの唐揚げのほか、自社工場で開発した新しい製法のジューシーなメンチカツや、一本釣りしたキハダマグロとオリジナル配合のシャリを使ったお寿司など、自社工場から直送されるOlympicならではの美味しい惣菜が数多く並びました。

昨年2月に竣工した新しいデリカ工場は、Olympicの



Olympicの一番人気「若鶏の手揉み唐揚げ」



二種類のミンチを2重包あんし、食感とジューシーさを追求したオリジナルメンチカツ「二層のジューシーメンチカツ」



一本釣りキハダマグロのお寿司



惣菜の美味しさ・オリジナリティ・供給力を進化させています。

このようなOlympicならではの個性的な商品力によって、お客様に美味しい驚きをご提供することが、私たちOlympicのテーマと捉え、今後も商品開発や売場作りに取り組んでまいります。

来店動機演出

「Olympicに行くとか何かある！」



Olympicの各店舗では、特徴豊かな地域の特産商品や季節商品をメインにしたオリジナル物産展や、店舗従業員も一丸となって参加するオリジナルイベント、ニッポン放送のラジオショッピングとのコラボ企画など、さまざまな催しを開催して、「Olympicに行くとか何かある！」という来店動機に一役買っています。



宮城物産展



福島物産展



Olympicの人気イベント、和太鼓パフォーマンス「暁天」ぎょうてん



店舗ガラス窓に子供達と描くイベント



サクソ演奏後に子供達と記念撮影



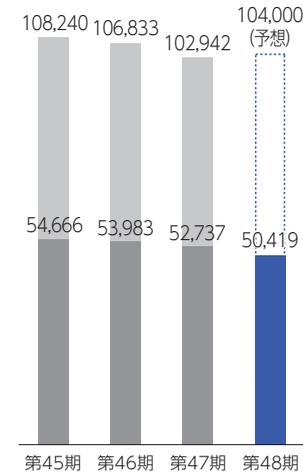
売場でのワークショップ

連結決算ハイライト

営業収益

504億19百万円

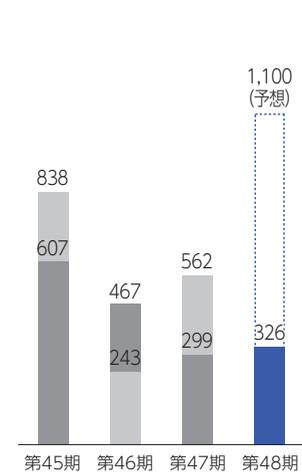
■ 期末 ■ 第2四半期 (単位:百万円)



営業利益

3億26百万円

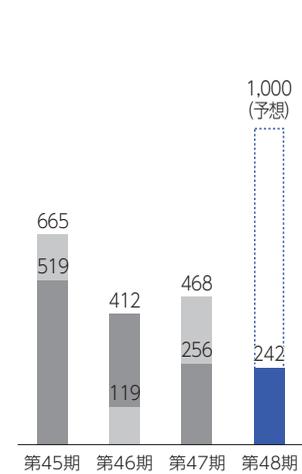
■ 期末 ■ 第2四半期 (単位:百万円)



経常利益

2億42百万円

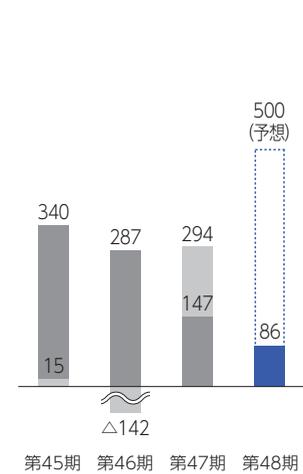
■ 期末 ■ 第2四半期 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

86百万円

■ 期末 ■ 第2四半期 (単位:百万円)



収益について

営業収益は6月から7月にかけての天候不順の影響等により、504億19百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

しかしながら、利益率の改善は着実に進んでおり、経費面につきましてもローコストオペレーションを推進してまいりました結果、営業利益は3億26百万円(前年同四半期比9.0%増)、経常利益は2億42百万円(前年同四半期比5.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は86百万円(前年同四半期比41.0%減)となりました。

2020年2月期 連結業績予想

営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
104,000百万円 (前期比1.0%増)	1,100百万円 (前期比95.7%増)	1,000百万円 (前期比113.5%増)	500百万円 (前期比70.0%増)

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第48期第2四半期 2019年8月31日現在	第47期 2019年2月28日現在
資産の部		
流動資産	18,483	16,857
固定資産	50,748	50,573
繰延資産	8	16
資産合計	69,239	67,447
負債の部		
流動負債	32,061	29,855
固定負債	13,332	13,480
負債合計	45,394	43,335
純資産の部		
株主資本	23,375	23,633
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	3,892	4,150
自己株式	△292	△292
その他の包括利益累計額	469	477
純資産合計	23,845	24,111
負債・純資産合計	69,239	67,447

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第48期第2四半期 2019年3月1日から 2019年8月31日まで	第47期第2四半期 2018年3月1日から 2018年8月31日まで
売上高	47,199	49,686
売上原価	31,940	34,484
売上総利益	15,258	15,202
営業収入	3,219	3,050
営業総利益	18,478	18,252
販売費及び一般管理費	18,151	17,953
営業利益	326	299
営業外収益	78	119
営業外費用	162	162
経常利益	242	256
特別損失	62	28
匿名組合損益分配額	△33	-
税金等調整前四半期純利益	214	228
法人税、住民税及び事業税	52	62
法人税等調整額	75	19
四半期純利益	86	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	86	147

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第48期第2四半期 2019年3月1日から 2019年8月31日まで	第47期第2四半期 2018年3月1日から 2018年8月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,347	2,889
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,267	△712
財務活動による キャッシュ・フロー	△616	△1,855
現金及び現金同等物の 増減額	1,463	321
現金及び現金同等物の 期首残高	2,901	2,903
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,365	3,225

会社概要/株式の状況

会社概要 (2019年8月31日現在)

商号	株式会社 Olympicグループ (英文名: Olympic Group Corporation)		
設立	1973年2月22日		
資本金	99億4,638万円		
本社	東京都国分寺市本町4-12-1		
役員	代表取締役会長CEO	金澤 良樹	
	代表取締役社長	木住 野福寿	
	代表取締役副社長	大下 内徹	
	取締役	内田 一男	
	取締役	大野 芳宏	
	取締役	木村 芳夫	
	取締役	武内 勝	
	取締役	森 威文	
	取締役	栗岡 威	
	取締役	野田 敏幸	
	常勤監査役	菊池 敏之	
	常勤監査役	大永 剛史	
	監査役	宮地 雄三	
	監査役	繁 樹江里	

株式の状況 (2019年8月31日現在)

発行可能株式総数	33,200,000株
発行済株式の総数	23,354,223株 (自己株式383,003株含む)
単元株式数	100株
株主数	4,071名

Olympicグループ ネットワーク (2019年8月31日現在)

 Olympic (株) Olympic	(株) グルー
 Fun@Smile (株) サイクルオリンピック	(株) エムケイカーズ
 DEPO (株) おうちDEPO	(株) OSCサイクル
 Hour Petia (株) ユアペティア	(株) オー・エス・シー・フーズ
 Shoesforest (株) シューズフォレスト	(株) アバンセ
 OSC Golf World (株) OSCゴルフワールド	(株) スコア
 AGMC (株) 動物総合医療センター	(株) キララ
	(株) フォルム

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
定時株主総会	毎年5月中
剰余金の配当基準日	2月末日および中間配当金の支払いを行うときは8月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード 8289)
公告掲載方法	電子公告とし、当社ウェブサイト (https://www.olympic-corp.co.jp) に記載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。